

令和5年度 第1回 久留米市総合教育会議

令和5年6月30日

15:00～(30分～40分程度)

次 第

1 開会

2 市長挨拶

3 議題

① 不登校児童生徒への支援の取組みについて

② 部活動地域移行について

4 その他

①学校における流域治水の取組状況について

5 閉会

令和5年6月30日(金)
総合教育会議資料

不登校児童生徒への 支援の取組について

教育部 学校教育課

不登校の状況

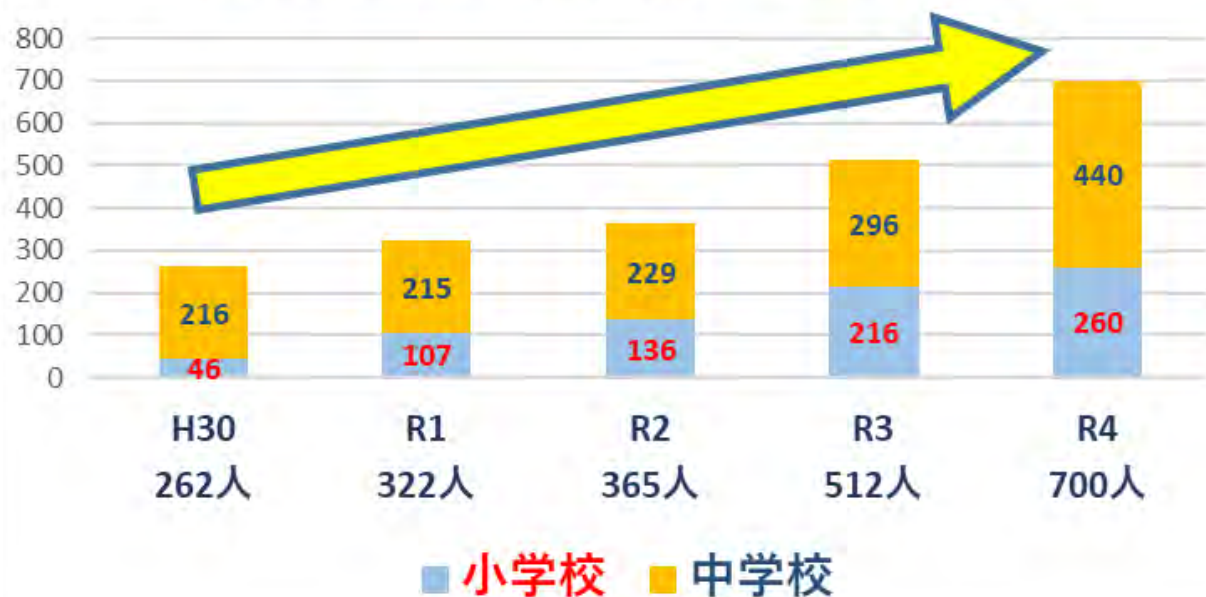
◆不登校の児童生徒は、全国的に急増しており、久留米市でも、不登校割合は全国を下回るものの、全国と同様に増加が続いている。（全国：令和3年度＝約24万5千人）

令和4年度（精査中）：700人

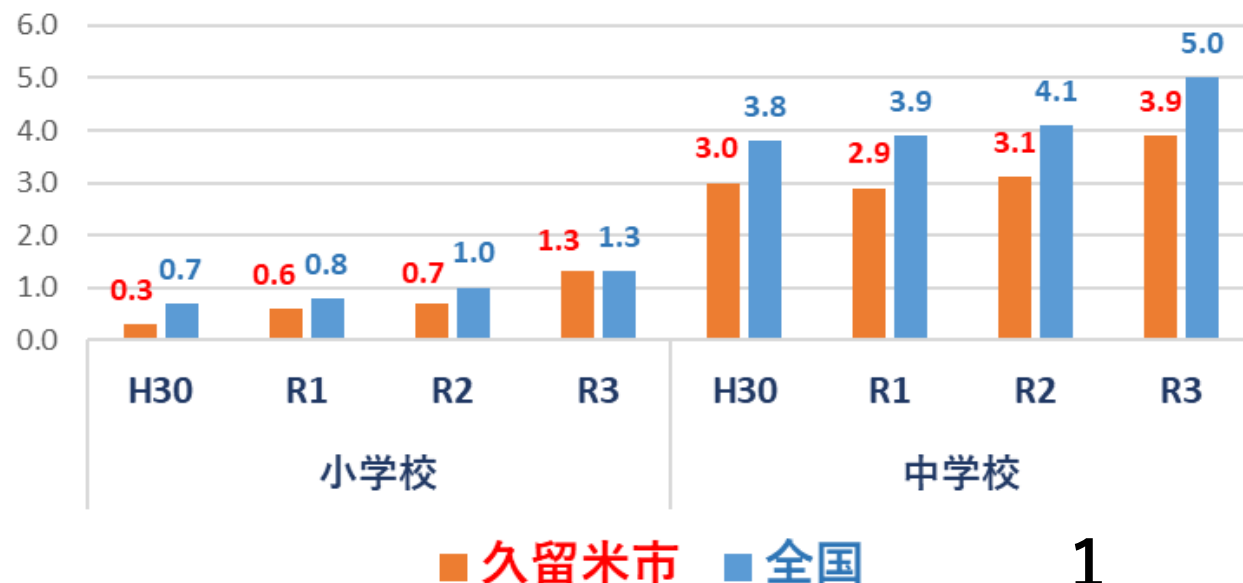
小学校：260人 前年度比：44人増（約1.2倍） 全児童の1.5%

中学校：440人 前年度比：144人増（約1.5倍） 全生徒の5.8%

不登校児童生徒数の推移（久留米市）



不登校人数の割合の推移



令和5年度の新たな取組

教育振興プラン
楽しい学校



◆久留米市不登校対応方針の策定

○策定委員会の設置

○対応方針の策定



◆不登校児童生徒への アプローチ共同研究

○専門機関と共同で実施



久留米市
不登校児童生徒の現状

※アプローチ共同研究の取り組み状況を随時、策定委員会へ報告

久留米市不登校対応方針の策定

○策定委員会の設置

久留米市の不登校対応の基本方針となる「久留米市不登校対応方針」を策定するため、

◆子どもに関する専門的な視点 ◆教育的な視点 ◆不登校関係者の視点
それぞれの視点を踏まえた委員で構成する策定委員会を7月中に設置します。

【不登校関係者の視点】

不登校経験者、不登校当事者の親の会など

【子どもに関する専門的な視点】

SSW、SC、主任児童委員、フリースクールなど

【教育的な視点】

小中校長代表、小中PTA代表など

久留米市不登校対応方針の策定②

○対応方針の策定

委員会は4回程度開催し、**不登校児童生徒のきめ細かな対応**や**不登校を生じさせないための学級経営**等について、助言をいただきます。教育委員会は委員会での意見を踏まえ、「不登校対応方針」を策定します。

不登校を生じさせないための学級経営

風通しのよい学級運営、魅力あるよりよい学校風土づくり・・・



不登校児童生徒へのきめ細かな対応

居場所づくり、ICT活用、フリースクール連携・・・

「不登校対応方針」を策定

不登校児童生徒へのアプローチ共同研究

○不登校児童生徒へのアプローチ共同研究

不登校児童生徒への社会的自立に向けた支援につなげるため、専門的な相談や支援につながっていない児童生徒への効果的なアプローチ手法について、不登校支援に実践的に携わってこられた専門家と共同して調査・研究を実施します。



不登校児童生徒や教職員への聞き取りを実施

不登校の要因・背景、
教職員の困りごとの
分析



支援につながっていない
児童生徒への効果的な
アプローチを検証

共同研究の相手方：福岡県スクールソーシャルワーカー協会

今後のスケジュール（予定）

時期		策定委員会	アプローチ共同研究
第1回	7月	<ul style="list-style-type: none"> ○委員会の概要説明 ○不登校の状況報告 	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold; font-size: 2em; margin-right: 10px;">報告</div> <div style="text-align: center;"> <p>○不登校児童生徒への聞き取り、 教職員アンケートの内容検討</p> <p>↓</p> <p>○聞き取り等の開始</p> <p>↓</p> <p>○聞き取り結果の分析</p> <p>↓</p> <p>○アプローチ手法の検討</p> <p>↓</p> <p>○アプローチ手法取りまとめ</p> </div> </div>
	8月		
第2回	9月	<ul style="list-style-type: none"> ○先進事例の取組報告 ○方針案の構想検証 	
第3回	11月	○方針案の内容検討	
第4回	2月	○方針案の内容検討	
	3月	○方針案の策定	

令和5年6月30日(金)
総合教育会議資料

部活動の地域移行について

教育部 学校教育課

部活動の地域移行について

1 部活動の地域移行に係る国の動向

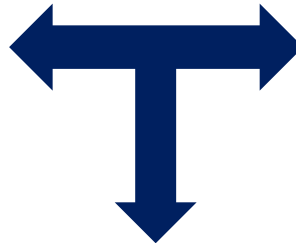
(1) 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

<部活動の意義>

- スポーツ・文化に親しむ機会
- 好ましい人間関係の構築
- 学習意欲や自己肯定感の向上
- 責任感、連帯感の涵養

<部活動の課題>

- 長時間勤務の要因
- 指導経験のない教師の負担
- 生徒にとって望ましい指導の機会損失
(少子化による存続の危機)



「持続可能な部活動」と「教師の負担軽減」の双方の実現が必要



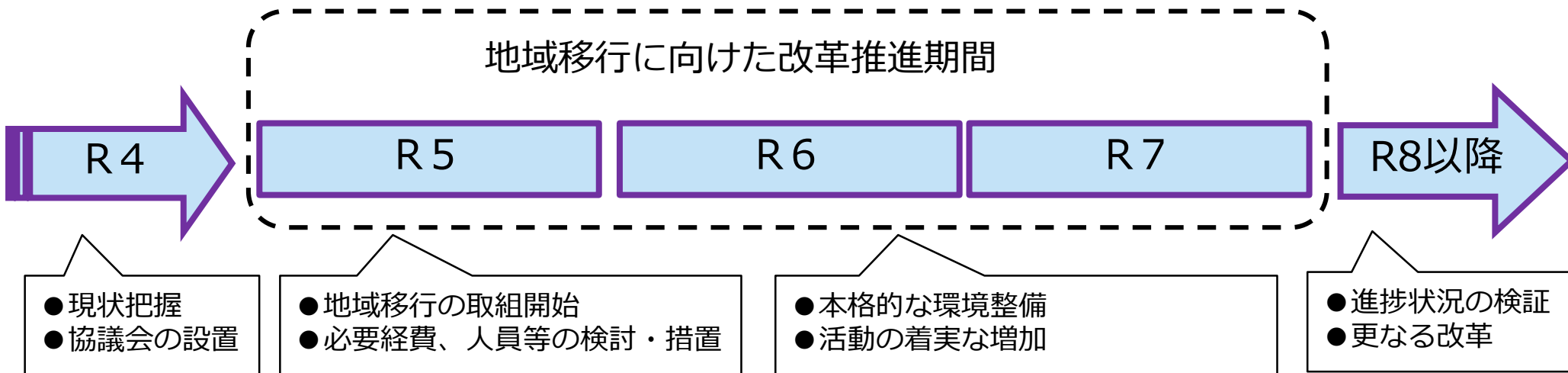
- ★部活動改革の一步として休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境構築
- ★部活動の指導を希望する教師が指導を行うことができる仕組みの構築
- ★生徒の活動機会確保のため、休日に地域でスポーツ・文化活動を実施できる環境の整備

部活動の地域移行について

1 部活動の地域移行に係る国の動向 (2) 国のガイドラインのポイント

令和4年12月にスポーツ庁・文化庁から、「部活動の地域移行に関する検討会議」の提言を踏まえた「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が示されました

- ★ 休日の部活動の段階的な地域移行（学校部活動から地域部活動への転換）
- ★ 合理的で効率的な部活動の推進（合同部活動の推進）

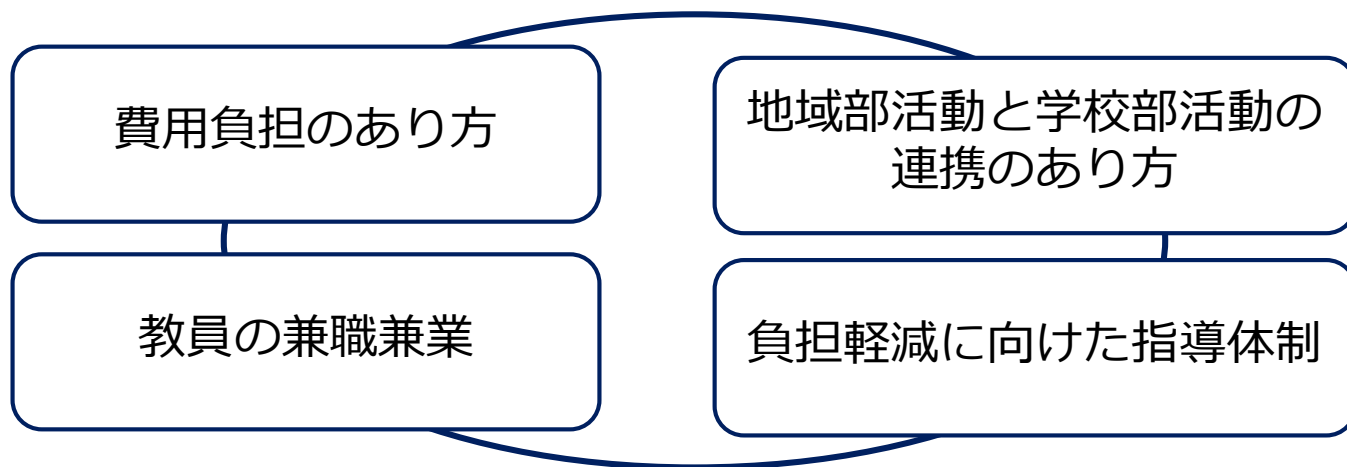


部活動の地域移行について

2 部活動の地域移行に係る福岡県の取組

(1) 地域運動部活動の実践研究

福岡県において、令和3年度から4年度にかけて複数の自治体で実践研究が行われ、次の事項の検証が行われました



【モデル自治体】

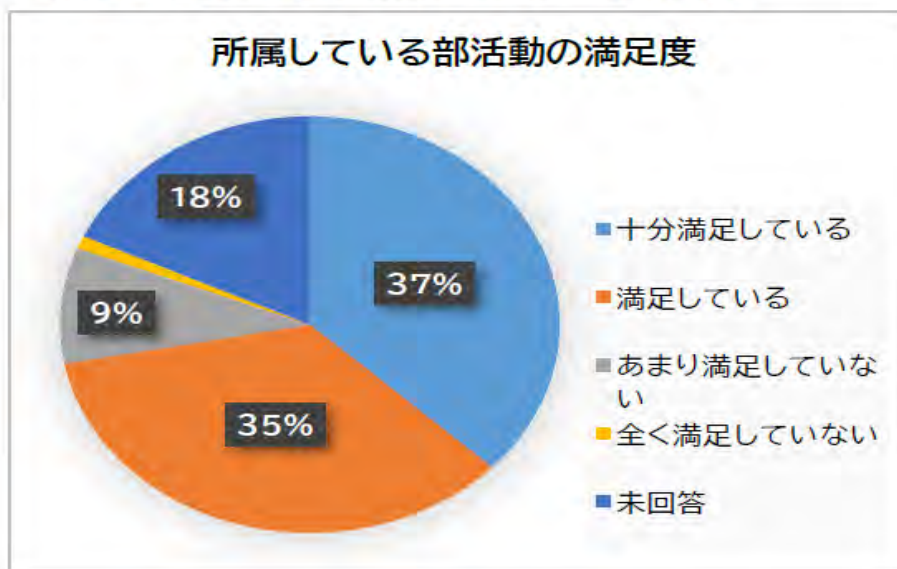
令和3年度	令和4年度
宇美町	宇美町
大木町	大木町
飯塚市	宗像市

部活動の地域移行について

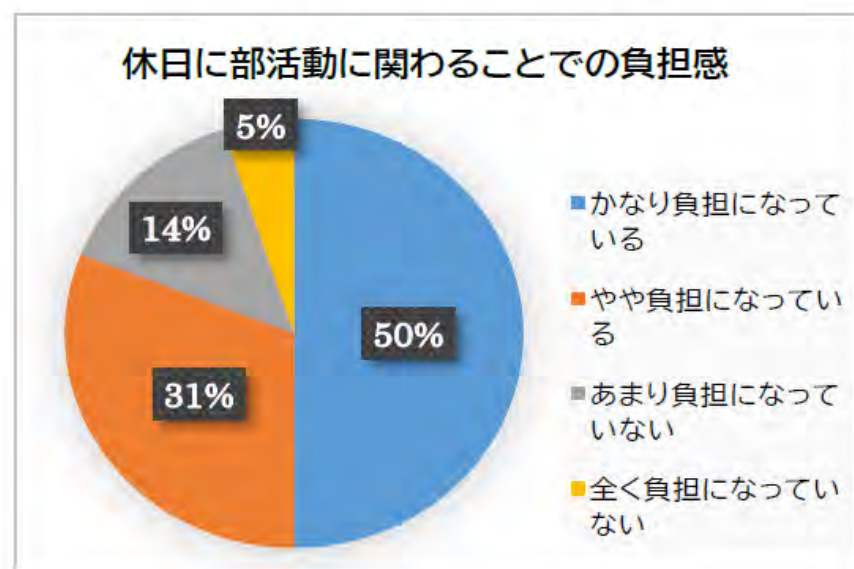
2 部活動の地域移行に係る福岡県の取組 (2) 部活動改革に係るアンケート調査の実施

令和4年6月に教職員、保護者、生徒、小学校5・6年生の保護者を対象とした抽出調査が行われました

■生徒に対するアンケート結果



■教職員に対するアンケート結果



部活動の地域移行について

2 部活動の地域移行に係る福岡県の取組

(3) 地域クラブ活動の構築に向けたガイドライン

令和5年3月に福岡県が主体的に行う具体的な取組、3年後の目指すべき姿や道筋を示す「福岡県における地域クラブ活動の構築に向けたガイドライン」が示されました

【福岡県の方向性】

生徒にとって望ましい「地域クラブ活動」の構築
～地域の実情に応じた休日の部活動の地域移行を中心に～

人格の形成、望ましい人間関係の構築、スポーツ・文化芸術の振興等、これまでの学校における部活動の**教育的意義や役割を継承・発展**している状態。

適切な運営

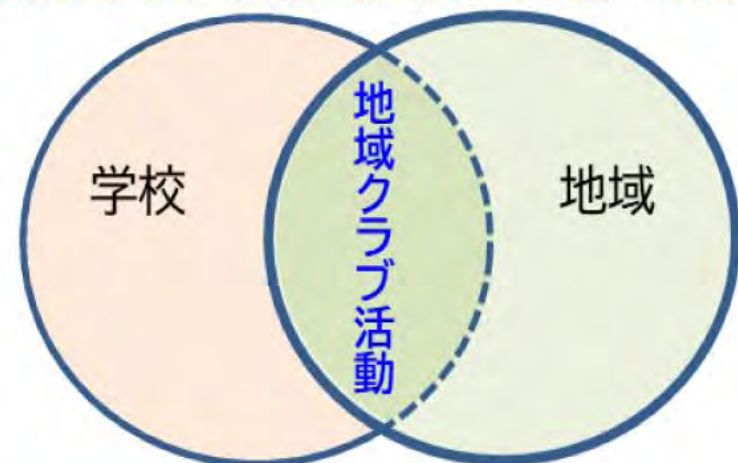
- バランスの良い活動
 - ※休養日、活動時間
- 生徒の健康・安全の確保
 - ※危機管理の徹底、施設設備の安全点検
- 体罰やハラスメントの防止

+

指導の充実

- 専門性を備えた指導者
- ふさわしい施設
- 発達段階やニーズに応じた活動

地域と学校が連携・協働した環境での活動



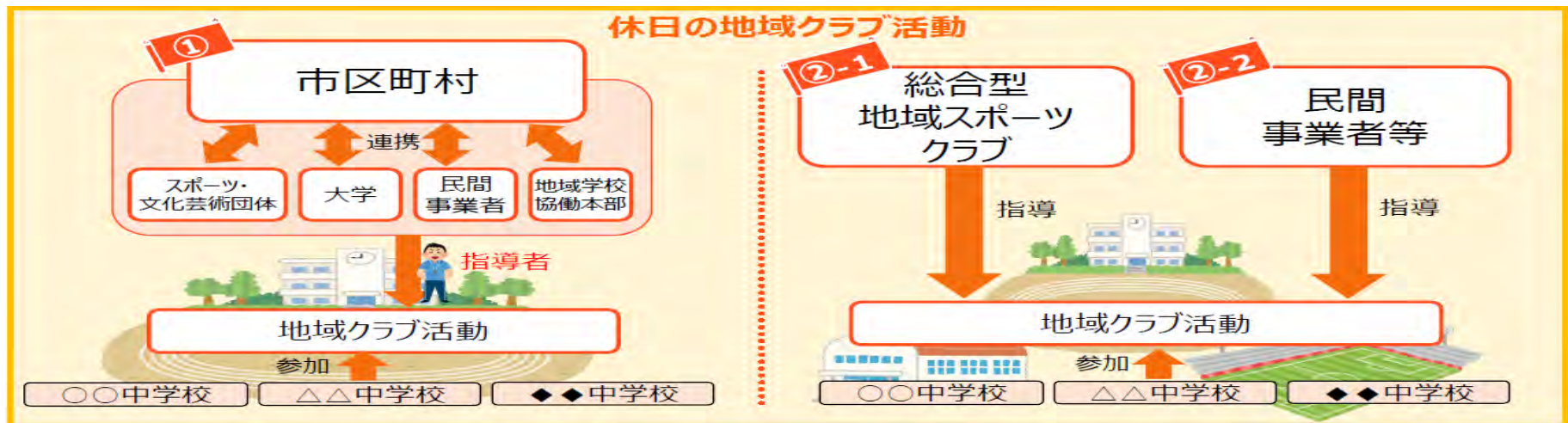
部活動の地域移行について

3 久留米市の地域移行に向けた計画

(1) ガイドラインが示す地域移行

国のガイドラインにおいては、部活動の地域移行は、大きく次の2つが想定されています

- ① 地域の多様な主体が実施する「休日の地域クラブ活動」
- ② 合同部活動や部活動指導員による「学校部活動の地域連携」



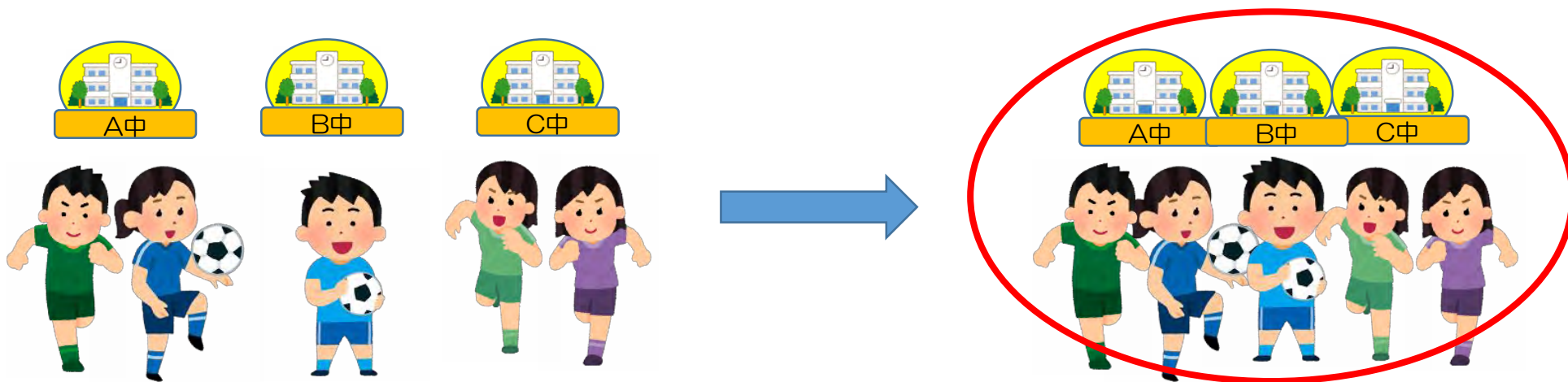
部活動の地域移行について

3 久留米市の地域移行に向けた計画

(2) 久留米市での地域移行の検討

久留米市においては、モデル競技を選定したうえで、隣接校での合同部活動による地域移行を進めていき、順次拡大していくことを検討しています

- R5 ・ 地域移行に係る協議会の設置
- ・ 土日に隣接校で合同部活動を実施するモデル競技を決定
- R6 ・ 学校・地域への説明会の実施
- ・ モデル競技の開始（土日のみ）
- R7 ・ モデル競技の拡大（土日のみ）
- R8～ ・ 全部活動における隣接校合同部活動を順次開始



学校における流域治水の取組み状況

本市では、近年、記録的な豪雨が続き、平成30年度より4年連続5回の大規模な浸水被害が発生しています。こうした中、関係部局と連携しながら全市的に流域治水対策を進めており、学校においても貯留機能の確保に取り組んでいます。

1. 雨水流出抑制（校庭貯留）について

大雨時に学校内グラウンドを活用し、一時的に雨水を貯留します。

(1) 北野中学校グラウンド（約12,000 m³）

○工期：令和4年11月～令和5年6月

○事業費：約57,000千円

○貯留量：約2,000m³



(2) 田主丸中学校グラウンド (約 20,000 m²)

- 工 期：令和 5 年度～令和 6 年度
- 事業費：約 218,000 千円
- 貯留量：約 3,500m³ (想定)



2 雨水貯留タンクの設置

校舎の屋上などに降った雨を貯留し、植栽への散水などに活用できるタンクを設置しています。

令和 4 年度は公共施設 10 ヲ所 (うち学校 4 校) に設置し、今年度は学校を含め合計 40 ヲ所程度に設置する予定です

【令和 4 年度】

- 鳥飼小：200L× 2 基
- 合川小：200L× 2 基
- 北野小：200L× 2 基
- 三瀨小：200L× 3 基



【設置状況 (鳥飼小学校)】

3 流域治水事業の見える化

流域治水に関する学校の取組については、令和 5 年 4 月に発行された「くるめっ子通信 No. 19」に掲載し、市立学校のすべての保護者に配布しています。

ともに未来を創る くるめっ子通信

No.19



発行 久留米市教育委員会
〒830-8520 久留米市城南町15番地3
TEL 0942-30-9213 FAX 0942-30-9719
Mail kyousou@city.kurume.fukuoka.jp

パソコンは令和の時代の文房具 一人一台のパソコンを活用します

自分で学びとる



いろいろな情報を吟味して
自分の考えをまとめます

自分の考えを伝える



相手に伝わるように、工夫を
こらして発表します

みんなで学びとる



みんなで話しあいしながら
考えを練り上げていきます

令和5年度は、ICTの活用で学びの幅をさらに広げます

自分らしい学び

興味関心を伸ばして学べる



プログラ
ミング学習で
論理的思考
力を育成

いつでも学び

前に戻って・先に行って学べる



AIドリルが
一人ひとりに
見合った出題

子ども



どこでも学び

学校外でも学べる



誰でも学び

専門家から直接学べる



生中継で
海外の方と
異文化交流



保護者のみなさまへのお願い お子さんにぜひお伝えください



パスワード

パスワードは、だれにも教えないようにします

健康

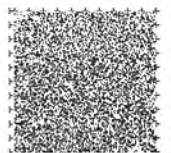
使う時間を決め、20分に1回は20秒以上遠くを見て目を休めます

使い方

パソコンは、お貸ししているものですので、大切に使います

インターネット

学習に必要な写真や動画などをダウンロードしません





子どもたちの教育環境がより充実したものになるよう
企業や団体等の皆様からの寄付をお待ちしています

学校を指定して寄付ができる制度を創設しました

- 子どもたちの教育環境をより充実したものとするため、市立小学校・中学校・高校・特別支援学校へ物品を寄付していただく制度を創設しました。
- 母校や同じ地域にあるなど、ゆかりのある学校を応援したいという気持ちに答えるため寄付をする学校を指定することができます。（指定しないことも可能です）
- それぞれの学校が希望している物品を表にまとめました。寄付の方法と合わせて、以下のQRコードをチェックしてください。（市ホームページにも掲載しています）

各学校が希望する物品の一例です



楽器



ボール

そのほか、
行事用テント
長ほうき
耕運機（花壇を耕します）
パイプ椅子
パーテーション
運動場用の塩化カルシウム
など、いろいろあります。



📄 寄付のお申し込みは
こちらをチェックしてください

令和4年度の寄付実績例

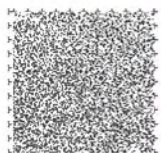
久留米中央ロータリークラブ様
まるは油脂化学（株）様
第一生命保険（株）様

感染症対策にハンドソープ
1200本をご寄付



（株）トリアンフーズ様

鳥飼小学校の給食用食材として鶏肉をご寄付
シチューとして献立に取り入れました



ほかにも、様々なご寄付を多くの企業や団体などの方々より頂戴しました
本当にありがとうございました

流域治水による安全・安心のまちづくりに取り組んでいます

久留米市では、市民の皆さんの暮らしや、子どもたちの学びや遊びが安全・安心なものとなるよう、重点的に水害対策を進めており、学校でも様々な取組を進めていきます。



久留米大学のグラウンドを掘り下げて、雨水を貯める施設を造っています。



河川の護岸を高くして、水があふれにくくします。

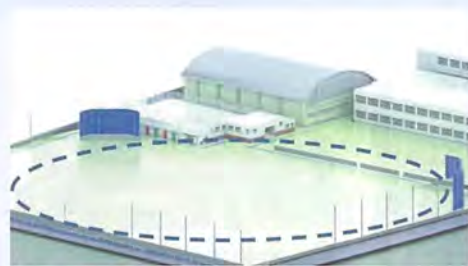


田んぼダム
水田に降った雨を一時的に貯め、河川の急な増水を抑えます。



みんなで流域治水
企業や市民の皆さんと共に、排水路の土砂などを除去します。

学校や教育委員会の取組



北野中学校のグラウンドを小堤などで囲み、そこに降った雨を貯める施設を造っています。



校舎の屋上などに降った雨を貯めて、花への水やりなどで利用できるタンクを設置します。



雨水を貯める施設と教室をオンラインで結び、流域治水の大切さを学びます。

久留米市の学校教育の取組をご紹介します

📎 コミュニティ・スクール モデル校

御井小・安武小・金島小では、子どもたちのよりよい成長を支えるため「地域とともにある学校」をめざし、学校・家庭・地域が連携・協働する取組を進めています



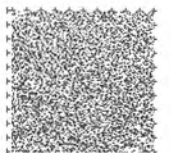
地域の方による放課後学習会



消防団の方による社会科の学習



地域の方による郷土の学習



久留米市の学校教育の取組をご紹介します

📎 「探求心の炎を燃やそう」 子どもの個性あふれる取組の募集

大会やコンクールなどの成果を発表する機会が少ない分野において、子どもたちが継続的に打ち込んでいる探究心や個性あふれる取組を募集しています。

2回目となる令和4年度は、北原ウエルテック株式会社様の協賛により、北原ウエルテック賞を創設しました。今年度も第3回目を募集する予定です。



第1回 教育長賞 「日本のお城の石垣」

日本の歴史の本で興味を持ち、お城の石垣について調べて勉強しています。



第2回 北原ウエルテック賞 「ノートパソコンの模型作成」

デザインの細部にまでこだわり作成しました。

📎 中学校の特別教室にエアコンを新たに設置します

中学校の全ての教室で、安全で快適な学びの環境を提供するため、美術室や技術室などの特別教室における**エアコンの新規設置**（R5設計・R6工事予定）に着手します。



普通教室のエアコン



施設の長寿命化を図るため、**外壁やトイレ**の改修のほか、明るく環境に配慮した**照明のLED化**を計画的に進めていきます。



改修前（水銀灯）



改修後（LED照明）



改修前（湿式トイレ）



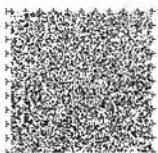
改修後（ドライ床トイレ）

講師の方を募集しています

市立学校では、教員免許を有する講師の方を募集しています。

法律の改正により、**教員免許の更新制度は廃止**されました。そのため、「退職後に免許を更新していない方」「免許があっても教員として勤務したことがない方」も**教員として勤務できる**ようになっていきます。

復職に向けたご相談にも対応いたしますので、お気軽に下記までお問合せください。



（お問合せ）教職員課 0942-30-9215